

# 法華宗信報

Hokkeshu Shinpoh

NO.146

お正月号

平成27年1月1日

【発行】法華宗宗務院

つなぐ

今あることを感謝して

## CONTENTS

- 2 年頭所感を述べ 歴史を回顧する 石田日信猥下
- 45 三聖人御遠忌法要ご案内
- 6 三聖人御遠忌奉讃事業 宮繕工事紹介
- 7 興隆学林新校舎落慶
- 8 元気のサプリ・マンガ「光くん日記」

# 年頭 所感を述べ

## 歴史を回顧する

法華宗 管長  
大本山光長寺貫首

いしだ  
石田 日信



法華宗信報読者のみなさまに新年のご挨拶を申し上げます。このような紙上年頭の言葉はめでたい言葉をもってつづるのが常とは思いますが、国内外、目にし耳にするニュースは、悲しいこと恐ろしいことが多すぎるように感じます。皆さまいかがでしょうか。

立ち止まってこのことを考えてみると、だから仏教は現在を末法と教えるのでした。いつからいつまでが末法ではない、私たちが生活している現在、今は末法のただ中だと教えられたのが日蓮大聖人の仏教です。末法のただ中という自覚は、だからどうするんだ、

という自覚を求めます。皆さまと共に日蓮大聖人に仏教を学び心して日々を過ごしたく思います。

### 桜下のもと

#### 法を伝える苦心をしのぶ

時代は中世室町時代 永享七年（一四三五）の某日、光長寺の学頭日朝聖人は都から贈られて来た日隆聖人の新著『四帖抄』を繙いておられた。読み進むうちに引きこまれ、やがてじっと目を閉じ、そしてハタと膝をうたれた。「このお方にあつてみたい…」

光長寺は宗祖日蓮大聖人のお弟子さま日法聖人と日春聖人のお二人が、宗祖の命をいただき協力して築かれた寺です。日法聖人は幼いときから宗祖のお側に仕え、宗祖のいろんなお言葉を書き伝え光長寺に残されました。日朝聖人はこう思われたのです「私たちが習い伝えて来た教えと、こんなに重なりあう論文は初めてだ」このお方とあつて直接話してみたいと。

日朝聖人は周囲の人々に決意をかたり、日隆聖人を尋ねて都に旅立たれました。室町幕府の威信も陰りを見せ戦国の胎動を匂わす騷擾の中の、百里遠しとせず都を目指し旅立たれた日朝聖人の、教えを求めると真摯なるお心を限りなく尊いものと思えます。

本館寺に日隆聖人を尋ねた日朝聖人、真摯なる学匠二人、滞在三日間、問答往復は内容充実稔り多いものでありました。お二人は一点の迷執なく法水一味の理解を得られ、堅い同信の契りを結ばれました。「貴殿は都にあつ



て愈いよいよ研鑽けんざん弘通くわうちゆうされよ、私は岡宮に帰り東に本門八品上行所伝本因下種のお題目を弘める」とお二人が交わされた堅い握手が、東朝西隆我が法華宗という組織の原点であると考えると、両聖人の会見という一事は教団史上大書されなければならぬ一事です。

本館寺本興寺様では、両本山を開か

れた日隆聖人は御開山聖人です、当然なことです。光長寺は日蓮大聖人の訓命を受けてお弟子様の日春日法二聖人が協力して築かれた寺です。光長寺においては命を授けたお師匠様日蓮大聖人を御開山聖人とします。日蓮大聖人が世中に出来たお寺というのは少ないのですよ。

ここで一つ「教えが伝わる」ということを考えてみましょう。日蓮大聖人の御入滅後、教えは各地に散在したお弟子様方により、聞受口述伝承で伝えられました。百五十年近い時代を経る中でいろんな謬議びゆうぎが生じました。考えてみて下さい、物差しとなるのは大聖人の書物です。まだ書物の印刷出版の無い時代です。謬解びゆうげの発生は止むを得ません。このことにいち早く気づき、各地に日蓮大聖人の残された書き物を探索され、探求勉強して日蓮大聖人の真

義を再興けんよう顕揚けんやうされた日隆聖人、呼応して本門八品のお題目を高唱、東西にわたる法華宗教団の基礎を固められた日朝聖人、お二人は日蓮大聖人の正流法華宗の法運中興の祖であります。

今年平成二十七年は日朝聖人の御入滅五百五十年にあたります。平成二十五年は日隆聖人御入滅五百五十年でした。大災害時代を迎え光長寺では平成二十二年開基日春聖人御入滅七百年の聖年を契機とし全堂宇どううの耐震改修工事を発願ほつがん奉行ふぎやうしてまいりました。所願成就してこの春四月五日六日 日春日隆日朝三聖人の報恩大法要を奉修いたします。全国津々浦々大勢様の御来詣をいただき大御本尊の法益わかつを頒ちたく、御案内申し上げます。



# 謹んで三聖人御遠忌をお迎えし奉る

【開基同時二祖日春聖人七〇〇遠忌・法運中興日隆聖人五五〇遠忌・法運中興日朝聖人五五〇遠忌】

大本山光長寺執事長 久保木 学洋

明けましておめでとうございませす。皆様には穏やかな新年をお迎えのことと拝しお慶び申し上げます。

本年、岡宮大本山光長寺は、春卯月、四月五日・六日、両日にわたり、三聖人御遠忌を奉行いたします。古来より、光長寺では日春聖人を同時二祖、日春聖人・日法兩聖人、日隆・日朝聖人を法運中興、日隆・日朝兩聖人と尊崇しております。

三聖人御遠忌をお迎えするにあたり、何十回の御遠忌を奉迎された先師先哲上人の心境を思い御遠忌奉行にあたり、何を思い何をされたか、少し思いをめぐらしてみました。宗祖は日春聖人に何を岡宮に託されたか、宗祖の御信者と交流、動向、等々を思いをめぐらします。日春聖人、宗祖に拝謁、直弟に連なる感動等思う時、如何許りか。日春聖人は建治二年（一二七六）に日法聖人と共に前寺を改宗し徳永山光長寺の草堂を建立し創建されました。年齢的

に若くない聖人でありましたが精力的に宗祖の教えを守り、また写本され、『寶物集』（重要文化財）を始めとし、これらが後世重要宝物として保存されています。

法運中興の兩聖人は正法を後世に正しく伝えるため、それぞれ学室で子弟教育に励精されました。即ち、日朝聖人は宗祖の教えを正しく伝えんが為に、関東に在りて岡宮学室で多くの弟子教育に励まれ、一方、関西では日隆聖人は勸学院学舎で多くの子弟教育に励まれました。

日隆聖人の『四帖抄』を御覧になり、日朝聖人は四十三歳の時、永享七年、京に日隆聖人を訪ね宗祖の正しい本門八品上行所伝の教えを兩聖人はともに広める事を確認されました。後世に東朝西隆と称され、今日の法華宗の礎を築かれました。御遠忌は先師の大切なメッセージと考えます。わたくしたちは今何を

すべきか、僧侶信徒一体となって平安世界を築くため人々の安寧の為、信仰のありかたを思い、心新たな気持ちです。

祈るところは、一天四海皆帰妙法・天下泰平国家安穩・万民快樂の大願です。三聖人遺徳を奉讃し更なる慈悲の光を信心のひかりでより輝くために、お題目を唱え・聞かせ・未来に伝えることが最も大切と考えます。

この御遠忌をお迎えするにあたり、報恩事業は少子高齢化に対処すべく無縁塔（光輪廟）を建立、また、大本堂・既存木造の諸堂宇は全て耐震改修工事を施工し、予測される東海沖大地震を想定し、人身保護、文化的遺産保全を重点に施工しました。

桜花爛漫のとき、岡宮で皆様のご参詣をお待ちしております。



# 日春・日隆・日朝三聖人 御遠忌法要日程表

平成二十七年四月五日～六日

日		時	名 称	御 導 師	備 考
六日	10時30分	妙経読誦千部施餓鬼法要	光長寺閑士猊下		
	13時	日朝聖人顕彰報恩法要	光長寺貫首猊下		
	13時30分	日春・日法両聖人御正当法要	光長寺貫首猊下	御真骨奉安 稚児献花	
	16時30分	日春・日隆・日朝聖人御逮夜法要	光長寺閑士猊下		
	6時	晨朝法要	光長寺貫首猊下		
	10時	浄財寄進各家先祖代々追善法要	鷲山寺貫首猊下		
五日	10時30分	諸堂宇耐震工事成就報恩法要	本興寺貫首猊下		
	12時30分	東朝西隆顕彰 ～日朝聖人と日隆聖人の出会い～			
	13時	日春・日隆・日朝聖人御遠忌御正当法要	光長寺貫首猊下	御舎利奉安 稚児献花	
	15時	三聖人御遠忌奉讃国禱会	本能寺貫首猊下	二十八紙大曼荼羅開展	

大法要の御案内です。大本山光長寺では、日蓮聖人門下に誇る数多くの御宝物を格護しております。大法要では二十八紙大曼荼羅御本尊、宗祖御真骨などを奉安しての奉修を予定しております。多くの皆様の御参詣をお待ちしております。  
※詳細につきましては、大本山光長寺または菩提寺までお問い合わせください。



◎御宝蔵開扉…六日午前9時～12時。日蓮大聖人御真筆御本尊を奉掲します。

(法要の名称は略称です)

# 三聖人御遠忌奉讃事業

営繕工事紹介

この度光長寺では、東海沖地震を想定し、東日本大震災の教訓を鑑みて木造堂宇の耐震診断を行いました。その結果、耐震補強工事に焦点を絞り、併せてこれらに必要な改修工事を、平成二十七年奉修「三聖人御遠忌奉讃事業」として行い、もって歴代の先師・檀信徒丹心の結晶たる建造物の永世護持を計りました。



1. 祖師堂耐震改修工事・祖師堂廊下・外縁階段の全面張り替え・襖改修・倉庫新設・欄間の新調等の工事
2. 方丈棟玄関・古書院・集会室耐震改修工事
3. 顕徳殿耐震工事及び屋根瓦葺替え工事
4. 庫裏寺務所棟耐震改修工事及び屋根瓦葺替え工事
5. 本堂屋根瓦改修工事
6. 建物周辺樹木補整及び排水溝改修工事 等



# 興隆学林新校舎

## 落慶法要

昨年九月二十九日、興隆学林専門学校の新校舎の落慶法要が宗門内外から多くの皆様が参列される中、盛大に行われました。この事業は多くの方の浄財で行われ、皆様のお力で素晴らしい校舎が完成しました。完成にあたりまして、興隆学林長の太平宏龍先生から、皆様への御礼のご挨拶を頂戴いたしました。



### 皆様への御礼

興隆学林長 大平 宏龍

平成二十六年九月二十九日は、法華宗門はもとより、私共興隆学林関係者にとって、嬉しい日でした。新しい校舎が完成し、その落成慶讃法要が行われたのです。

すでに当『法華宗信報』や『無上道』誌上等で御承知と思いますが、旧校舎は耐震強度に問題があると診断されて、やむなく宗門は改築を決断したのでした。

新しい校舎は、これまでとちがって、寄宿舎とは別棟とし、また学校法人立の学校としてのいろいろなきまりなどをクリアした建物となりました。この意味では、宗門の歴史の上では、初めての本格的校舎といえます。これからの運営に当たっては、まだまだ設備を充実すべきこともあります。何といたっても立派な僧侶を社会に送り出すことが、興隆学林に課せられた唯一の使命です。

今、真の意味で、宗祖大聖人の目ざされた「立正安国」が求められているにも関わらず、社会は少なくともその本当の幸せを実現する方向に向かってはいえず、加えて自然災害・疫病の不安等も大きいのが現状です。日本の人口減少も心配されています。

こうした事態の中で、信心ある方々が、正しい仏法の興隆を願って、尊い浄財を御寄進して下さった結晶が、学林新校舎と考えます。私共法華宗は、一丸となって、皆様の御心に応えねばなりません。それが本当の御礼ではありませんが、校舎完成を期に、先ずは心よりの感謝を申し上げます。

皆様、本当に有難うございました。

著者：三船美也子（健康運動指導士）



新年おめでとうございます。年末年始の休日をのんびりと過ごされた皆様の中には、食べ過ぎや運動不足を感じ、体重計を横目に「運動でもしないと・・・」と思っている方も多いのではないのでしょうか。思い立ったら吉日。今日から始められる『かんたん！運動不足解消エクササイズ』をご紹介します。近年増加傾向にあるロコモティブシンドロームを予防するのにも効果的なエクササイズです。是非、取り組んでみて下さい。その他、階段をなるべく使うようにする、キビキビと速く歩くといった意識をすることから始めていきましょう！

【その場ウォーキング】（有酸素運動）

リズムカルにその場に立って足踏みをします。前後に腕を振る、脚を上げる高さに変化を加えると運動強度を調節できます。軽く息がはずみ少し汗をかく程度がお勧めです。テレビを観ながら、好きな音楽を一曲聴き終わるまでなど目標を設定するのも良いですね。

足音を立てないように気をつけるとお腹周りの引き締め効果も期待できます。

【イスを使ってスクワット】（筋力アップ）

しっかりと立ちからだを支え、歩くことやしゃがむことに欠かせない足腰を強くする運動です。イスなどから立ち上がる時を利用しましょう。両腕を伸ばしてバランスを取ると実施しやすくなります。



・骨盤を立て背すじを伸ばす



・足の付け根からおしじをするように、イスから立ち上がる

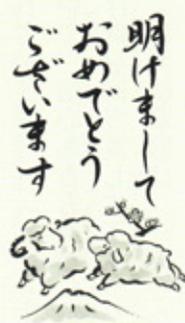


・足の付け根からおしじをするように、イスから立ち上がる

さて、本年は、四月五・六日に静岡県沼津市にあり、ます大本山光長寺さまにおいて三聖人（日春・日隆・日朝）のご遠忌法要が行われます。この度の編集部は光長寺さまの御膝元の東海教区であり、この正月号にてご遠忌特集を掲載いたしました。記事を読んで頂き、たくさんの方々には御参詣していただければありがたいと思います。

本年も編集部一同頑張つていきますのでよろしくお願ひ致します。

今年一年皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。



編集後記